

1. 11 月の目標

- 1) 秋学期の授業のまとめ
- 2) フォーミュラ SAE チームの活動への参加
- 3) ELC 及びその他の活動への参加

2. 11 月の活動

2.1 秋学期の授業のまとめ

今学期の授業は 11 月 13 日(金)に終わり ミシガンテストは 16 日(月)に実施された 従って、第 1 週は授業、第 2 週は期末テスト、そして後半の半月は秋休みであった。表 1 に秋学期の各科目の成績と、GPA を示す。

表 1 秋学期の成績と GPA

COURSE		HOURS	FINAL GRADE
170107001	ADV I READING	4	A
170107101	ADV I WRITING	4	A
170107201	ADV I CONVERSATION	2	A
170107301	ADV I GRAMMAR	3	B
170107401	ADV I VOCABULARY	2	D
170109701	PRONUNC&ACCENT REDUCTION	3	C
170110601	TECHNICAL WRITING	3	A

Total Hours: 21
 Quality Points: 69
 ELC Grade Point Average: 3.29

残念ながら、Vocabulary の単位を取得することが出来なかった。この科目の期末テストは、43 の単語の意味を 43 の選択肢の中から選ぶ内容であった。設問の単語の意味は事前の勉強により把握していたが、回答を探すことに時間がかかり、また回答側に意味の分からない単語が含まれていることもあったため、時間内に全問どころか半分も回答することができなかった。テストの結果は 33% であり、これが成績に大きく影響したと考えられる。

期末テストとして、ペーパーテストを実施した科目は Vocabulary と Grammar の 2 科目のみであった。Writing は、次学期のクラス分け判定に利用されるライティングテストを最後の授業時間に受けた(結果は事項に示す) Reading, Conversation, Pronunciation, 及び Technical Writing の 4 科目は、プレゼンテーションが最後の課題であった。Reading は 1 学期間かけて読んだ 1 冊の本の内容について、Conversation はグループで 1 つの国を選び、その魅力を発表した。Pronunciation は生まれ育った実家や地域についての紹介、Technical Writing は授業の課題として書いたリサーチペーパーの内容について発表した。どの科目のプレゼンテーションでも 発表後にはクラスメイトや先生から質問を受け、それに回答しなければならなかった。Technical Writing は他の学生の英語のレベルが高いため、また内容が各学生の専門領域のため、意味を知らない単語が多く、発表内容を理解することは難しかった。

各学期の終わりには、1 学期間の英語能力の向上度合いの確認と次学期のクラスレベルを判定する 3 種類のテストが行われる。今までに同様のテストを 3 回受けた。表 2 に 3 種の 3 回のテスト結果を示す。

表 2 3 種の 3 回のテスト結果

	夏学期始め	夏学期終り	秋学期終り
Michigan Test	44	52	51
Oral Interview	24	43	53
Writing	E3	E5	E5

絵について先生から質問を受け、それに答える Oral Interview は、回を追うごとに点数は上がり、RIT の授業を取れるかどうかの基準である 50 点を超えることが出来た。2 つの設問から 1 つを選び、意見などを記述する Writing の結果は、前回と変わらず基準の E6 を超えられなかった。100 問の 4 択問題である Michigan Test に至っては、前回の結果から 1 点ではあるが下がってしまった。

Oral Interview は文法を中心に判定されることから、文法に関して問題はなくなってきているようである。Writing の結果の詳細や採点基準については、後日尋ねる予定である。Michigan Test については、分かる問題と分からない問題の区別が早くなってきた。特に Vocabulary のセクションでは単語の意味を知らない問題が多く、大方の問題を直感で答えた。長文のセクションでも、やはり意味の分からない単語の量が多く、読解することに苦勞した。これらの結果から、語彙を強化する必要があることを強く感じた。

これら 3 種のテストの結果から、次学期は Advanced 2 のクラスを取るようになった。レベルがまた 1 つ上がるため、まずは授業に慣れることから心掛けたい。選択科目は、Presentation Skills と Reading in the Sciences の 2 科目を取る。残念ながら、RIT の授業を取ることは出来ないが、私の専門領域から Vehicle Dynamics の科目を、単位は取らずに聴講する Audit として取ることにした。

2.2 フォーミュラ SAE チームの活動への参加

授業の最終課題や期末テスト及びプレゼンテーションの準備などで忙しく、なかなか参加できなかったが、7 日(土)に行われた試走に参加した。この日は、今年 3 大会に参加し、総合優勝、2 位をそれぞれ 1 回ずつ獲得した最新車両の走行を、初めて見る事が出来た。今までは、2 年前の車両で試走することが多かった(昨年の車両はエンジンやサスペンションスプリングなどが抜き取られ、車庫に保管されている)。今回の試走も、参加人数は 3 人と少なかった。

普段は、周回コースを 1 日中走っているが、今回の試走では、スラロームとブレーキングからのコーナリングの 2 種類の練習メニューから、基礎的なドライビング技術を練習した。スラロームでは、直線からのアプローチと速度調整、走行ラインの確認と、アクセルワーク及びステアリング操作の練習を、ブレーキングからのコーナリングでは、全開加速からのフルブレーキング、それに続く 180 度のコーナリング姿勢のコントロール、立ち上がりのアクセル及びステアリング操作についての練習を行った。図 1 及び図 2 に試走の様子を示す。



図1, 図2 試走の様子

2.3 ELC 及びその他の活動への参加

2.3.1 サッカー

今月上旬に、両チームのリーグ最終戦が行われた。最終戦も2チーム共に勝利し、その結果、ELC UNITED は6勝0敗、ORANGE WINGS は7勝1敗で、両チームともリーグ優勝することが出来た。図3にELC UNITED、図4にORANGE WINGSのメンバーを示す。冬学期も同様にリーグ戦が開催されるようなので、引き続きELCの学生と共に参加し、健康維持に努めたい。



図3 ELC UNITED



図4 ORANGE WINGS

2.3.2 日本語の授業

RIT では外国語の勉強が盛んで、9ヶ国語もの授業が開かれている。その中でも、日本語は最も人気の高い外国語で、250人程のRITの学生が受講しているそうだ。今月、日本語を教えている日本人の先生の1人から、授業と期末テストの手伝いを頼まれ、参加した。授業ではRITの学生が今までの授業で勉強した文法を使って、会話の練習をした。中級のクラスでまだ2年間も勉強していないそうだが、大方の学生が日本語をきれいに話すことができていた。期末テストでは、リスニング用の会話の音読を手伝った。図5に日本語クラスの期末テストの様子を示す。

2.3.3 セレブレーションパーティ

今月唯一の ELC のイベントであった。各学期の終わりに必ず開かれるディナーパーティで、前はイタリア料理店、今回はドイツ料理店で開催された。この場で、成績優秀者の表彰や各レベルのクラスの修了証が渡される。この日を最後にロチェスターを去る学生もあり、寂しい思いをする日でもあった。こうした学生を中心に、普段はあまり話のできない先生との会話も楽しんだ。図 6 にセレブレーションパーティの様子を示す。



図 5 日本語クラスの期末テストの様子



図 6 セレブレーションパーティの様子

3. 12 月の目標と課題

1)新しい授業への対応と語彙の強化

クラスのレベルが 1 つ上がるため、授業のスピードや内容に出来るだけ早く順応したい。また、語彙の強化のため、自学の時間を増やしたい。

2)フォーミュラ SAE チームの活動への参加

専門領域の勉強とアメリカ人と話す機会を作るために、より積極的にワークショップへ出向き、活動に参加したい。

3)ELC 及びその他の活動への参加

引き続き、英語を使う機会を多く得るためや異文化を感じるために、様々な活動に参加したい。

4. その他

今月 11, 12 日に KIT から佐藤教務部長, 札野教授, 山部教授をはじめ、多くの先生方が RIT の視察に来られた。11 日の夜には、以前 1 ヶ月ほど生活していた RIT Inn にて、RIT の日本語の先生方と ELC の Paige 先生を交えて夕食をご馳走になった。その場で、これまでの約半年間の留学生活について簡単に報告した。翌日 12 日の午前には、ELC のボスである Jo との会談や RIT の施設の見学、昼食を共にし、近況の報告や多くの情報を交換することができた。

半月ほどの秋休みを利用して、ニューヨークシティ、ワシントン D.C.、ボストンの 3 都市を旅行した。ニューヨークシティ及びワシントン D.C.では、スミソニアン博物館を中心に、美術館、自由の女神、ホワイトハウスなどを訪れた。ボストンでは、ELC のアシスタントで、今年の夏に KIT に交換留学した友人の家に泊まった。Thanksgiving Day には、その友人の家族や多くの親戚と共に七面鳥を食べた。また、ボストン出身の別の友人の誘いから、射撃場で実弾を撃つ機会にも恵まれた。10 日間の旅であったが、アメリカの文化を大いに学ぶことが出来た。

旅行先はそれほど寒く感じなかったが、10 日間の中にロチェスターの気温は予想以上に低くなっていた。雪は今月に 2 度降ったのみでまだ積もってはいないが、最低気温は連日氷点下である。冬物の衣類は買い揃えたが、このままの勢いで気温が下がると不十分であると感じた。今月は体調を崩すことはなかったが、引き続き体調の管理に留意したい。

以上